

# あ と が き

新型コロナウイルスが流行し始めて、早2年が経ちました。

私たちにとって今までの“当たり前”が当たり前ができなくなったことに流行当初に比べ、今日では様々な感染症対策がとられ、少しでも元の生活を取り戻す工夫がなされている最中であります。

昨年度の「青少年のための科学の祭典大阪大会」(サイエンスフェスタ)は、開催に向けて様々な意見を出し合って、初めてYouTube動画や文書資料などを用いたオンライン開催となりました。今年度は「ウィズ/ポストコロナ時代にいきる」をテーマで、動画での出展に加え、対面式によるブース出展も再び行うことができるようになりました。また野外実験も行われるようになり、各団体の方々の創意工夫を凝らした実験や展示に触れ合えることは、嬉しい限りであります。

サイエンスフェスタでは、多くの実験やものづくりや科学のおはなしなど、様々な不思議に直に触れ合えることが大きな魅力です。こうした交流を通して、実際に感動してみたり疑問を投げかけてみたりとすることで、それらの不思議に対する学びを深めることができます。

「すごい!」という感動だけでなく、「どうなっているのだろうか?」「やってみよう!」という興味や意欲を持っていただければ幸いかと存じます。そして、このサイエンスフェスタで得た不思議が、持ち帰ったあとで真似して取り組んでみたり、条件を変えて新しく取り組んでみたりして、新たな不思議を発見していくのも良いでしょう。そうしたきっかけから、科学を志す者が輩出されるであろうと信じてやみません。また保護者の方々にも展示内容等に触れて科学を楽しんでいただくと同時に、お子様の科学に寄せる興味関心の芽を育む際の参考にしていただければと思います。

あとがきの結びにあたり、サイエンスフェスタが今以上に多くの人で賑わい活気ある科学の祭典になっていくことを願って止みません。コロナ禍の状況を常に鑑みながら運営や会場提供等をしていただきました大谷中学校・高等学校の皆様方、そしてこの大会に対して深いご理解とご支援を頂戴した関係者の皆様方には、心より感謝と御礼を申し上げます。

2022年8月

実行副委員長 **八島 昌大**